

編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター  
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地  
北海道社会福祉総合センター

(かでの 2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp

URL : http://www.hokkaido-sien-center.jp/



## 日本語授業課外学習

中国帰国者一世の方を対象に、日本語の再学習を中心に、日本の文化・習慣・社会知識・生活知識を習得するため、課外学習を取り入れています。5月14日、第1回の課外学習は円山公園と円山動物園に行ってきました。受講生の感想文には「桜がきれい、動物がかわいい」「初めて観覧車に乗った、楽しかった」などの楽しい思い出が書かれていました。



## レッツトーク (交流会)

—「日本語&ロシア語で話そう!」—

6月18日、第1回目の「日本語&ロシア語で話そう!」を開催しました。ロシア帰国者の日本語中級クラスの生徒5名とロシア語を勉強中の地域住民6名が参加しました。お互い日本語とロシア語の勉強方法などを紹介し、和やかな雰囲気の中で交流会が終了しました。



## 第1回日本の家庭料理教室(お弁当編)

5月31日、今年第1回目の料理教室を開催しました。中国やロシアではお弁当を作る習慣がないことから、日本の「お弁当文化」に親しむために、日本の一般的なお弁当を作りました。

参加者の皆さんは、「とりつくね」「グリーンピースの卵焼き」「リボンにんじん」「おむすび3種」の4品目を上手に作り、可愛く弁当箱に詰めていました。



# 自立へがんばって学ぶ、樺太帰国者のみなさん

樺太残留邦人の永住帰国が始まってから、北海道に定着する家族が増加しています。センターでは、定着した帰国者のための研修クラスを開設して、日本語の学習支援や生活・就労学習支援を進めています。日本語学習は週3回、生活・就労学習は週1回開講しています。又、月に1回、社会見学や就労のための見学会を行っています。



6月16日、今年2月札幌市に定着した受講生7名で橋梁や水門などを製造している工場の見学会を行いました。鉄材や大型機械が動く工場現場の参観では、受講生の皆さんから「工場で働く人が少ない」「工場がきれい」などの感想や、説明に対し多くの質問をするなど、熟練工員の仕事を熱心に見学しました。特に、就労自立をめざす2世の皆さんは、日本の職場にふれ、理解を深める良い機会になりました。案内を担当した方からは「私の母も樺太引揚者です」という話を聞いて親しみを感じ、たいへん励まされました。

現在、帰国者の皆さんは自立へ向けて意欲的に学んでいます。北海道の就職事情は極めて厳しい状況にあります。7月9日、新たに3世帯9名の樺太帰国者が札幌に定着します。帰国者の皆さんが自信を持って生き生きと仕事ができるようサポートしていきたいと考えております。

## 日本語教室伝言板



10月期日本語 & パソコン課程の募集要項を8月に発送しますので、受講したい方は

### 7月～9月の予定

7月12日(月)	さくらんぼ狩りバスツアー <b>切まし</b>
7月26日(予定)	特別講座(中国結び)
8月10日～18日	日本語&パソコン教室 夏休み
8月22日(日)	第10回さっぽろ映歌まつり
8月予定	第3回DVD上映会(中国映画)
9月6日(月)	第2回料理教室(健康編)
9月予定	地域交流バスツアー(イモ掘り)
9月17日～30日	日本語&パソコン教室 秋休み

### 編集後記

日本語教室や交流事業に沢山の方がご応募して頂いています、本当にありがとうございます。これからも、交流事業を計画していきますので、日程が決まり次第、お知らせします。

なお、住所の変更などで送付先が変わる場合、あるいはセンターから案内を送付してほしい場合は、ご連絡願います。